

サッカーW杯日本代表選手のソーシャルメディア活用度ランキング ～Twitterは清武弘嗣選手、ブログは川島永嗣選手が第一位～

株式会社ホットリンク(代表取締役社長 CEO:内山 幸樹、本社:東京都千代田区、証券コード:3680)のグループ会社である株式会社ホットリンクコンサルティング(代表取締役社長:成瀬功一郎、本社:東京都千代田区)は、ソーシャルリスニングツール「クチコミ@係長」を使って、サッカーW杯日本代表選手23名のソーシャルメディア活用状況に関する調査を行いました。

その結果、Twitterについては清武弘嗣選手(MF、ニュルンベルク(ドイツ)所属)が、ブログについては川島永嗣選手(GK、スタンダール・リエージュ(ベルギー)所属)が、最も活用していることがわかりました。また、セレッソ大阪に現在所属している、または、所属経験のある選手のTwitter活用が進んでいること、などについても明らかになりました。

【 レポート詳細 】

選手自身のソーシャルメディアの活用状況について調べる前に、まずは各選手の名前がどの程度ツイートされているかを調べました。その結果、1位は本田圭佑選手、2位は内田篤人選手、3位は香川真司選手でした。また、各選手に関するツイートの性別内訳を調べると、内田篤人選手の女性割合は38.8%であり、全選手の平均値23.4%と比較して、15.4ポイントも高いことがわかりました。プレーだけではなく、その発言内容も注目されるカリスマ本田圭佑選手や、女性ファンの多い内田篤人選手が、ツイート数の上位を占める結果となりました。

【表1:各選手の名前を含むツイート数】

(10%サンプリング、データ期間:2014年5月13日～2014年6月4日)

順位	選手名	ポジション	所属クラブ	ツイート数	男性割合	女性割合
1	本田圭佑	FW	ACミラン(イタリア)	29,470	74.4%	25.6%
2	内田篤人	DF	シャルケ(ドイツ)	16,985	61.2%	38.8%
3	香川真司	FW	マンチェスター・ユナイテッド(イングランド)	9,628	73.0%	27.0%
4	柿谷曜一朗	FW	セレッソ大阪	6,503	75.9%	24.1%
5	大久保嘉人	FW	川崎フロンターレ	6,187	77.4%	22.6%
6	長友佑都	DF	インテル(イタリア)	5,494	76.2%	23.8%
7	遠藤保仁	MF	ガンバ大阪	4,695	72.5%	27.5%
8	山口蛍	MF	ガンバ大阪	4,017	75.0%	25.0%
9	長谷部誠	MF	アイントラハト・フランクフルト(ドイツ)	3,765	73.0%	27.0%
10	吉田麻也	DF	サウサンプトン(イングランド)	3,366	73.5%	26.5%
11	大迫勇也	FW	FCケルン(ドイツ)	3,240	67.0%	33.0%
12	岡崎慎司	FW	マインツ(ドイツ)	2,630	77.7%	22.3%
13	川島永嗣	GK	スタンダール・リエージュ(ベルギー)	2,417	72.2%	27.8%
14	酒井宏樹	DF	ハノーファー(ドイツ)	1,885	79.7%	20.3%
15	酒井高德	DF	シュトゥットガルト(ドイツ)	1,868	83.6%	16.4%
16	青山敏弘	MF	サンフレッチェ広島	1,664	75.1%	24.9%
17	今野泰幸	DF	ガンバ大阪	1,627	80.9%	19.1%
18	齋藤学	FW	横浜F・マリノス	1,559	77.5%	22.5%
19	清武弘嗣	FW	ニュルンベルク(ドイツ)	1,276	78.3%	21.7%
20	西川周作	GK	浦和レッドダイヤモンズ	718	89.3%	10.7%
21	伊野波雅彦	DF	ジュビロ磐田	640	89.4%	10.6%
22	権田修一	GK	FC東京	518	87.9%	12.1%
23	森重真人	DF	FC東京	43	71.4%	28.6%

■Twitter で最も多くツイートしたのは清武弘嗣選手

次に、選手自身のソーシャルメディアの活用状況について調べました。その結果、Twitter を利用しているのは7名(2014年6月4日調査時点)であり、累計で最も多くツイートした、つまり、自身のツイート数が最多なのは、清武弘嗣選手でした。サッカー選手仲間との交流や、家族との出来事など、様々な事柄がツイートされています。また、フォロワー数や、アカウント名を含むツイート(リツイート、リプライ、メンションなど)の数についても、清武弘嗣選手は最多であり、Twitter を最も活用している選手だと言えます。なお、清武弘嗣選手については、アカウント開設直後に偽物だと勘違いされ、しばらくの間その否定に追われた、というエピソードも知られています。(http://matome.naver.jp/odai/2134128289559381001)

ツイート時の画像/動画の数が最も多いのは山口蛍選手です。サッカー選手仲間との交流時の写真を中心にアップされています。イケメンサッカー選手の一人として取り上げられることの多い山口蛍選手ですが、写真を通して伝わる気さくな人柄も、人気の理由なのかもしれません。

フォロワー数が最も多いのは香川真司選手です。各選手の名前を含むツイート数において3位でもある香川真司選手のツイートは、多くの人々にフォローされています。

【表 2:各選手の Twitter 利用状況】

(調査時期:2014年6月4日)

順位	選手名	アカウント名	登録年月	ツイート数	画像/動画	フォロー	フォロワー
1	清武弘嗣	13_hiroshi	2011年12月	1,201	74	154	283,564
2	山口蛍	06Crz	2012年9月	730	122	65	124,523
3	柿谷曜一朗	yoichiro0103	2012年12月	463	86	17	211,495
4	酒井宏樹	hi04ro30ki	2012年6月	409	40	84	98,035
5	権田修一	gonchan20	2011年2月	220	1	108	34,505
6	伊野波雅彦	inoha19	2011年7月	128	62	64	13,549
7	香川真司	S_Kagawa0317	2013年2月	104	28	36	805,014

【表 3:各選手のアカウント名を含むツイート数】

(10%サンプリング, データ期間:2014年5月13日~2014年6月4日)

順位	選手名	アカウント名	アカウント名を含むツイート数
1	清武弘嗣	13_hiroshi	36,199
2	香川真司	06Crz	29,215
3	山口蛍	yoichiro0103	13,804
4	柿谷曜一朗	hi04ro30ki	12,751
5	酒井宏樹	gonchan20	8,120
6	権田修一	inoha19	998
7	伊野波雅彦	S_Kagawa0317	730

なお、Twitter を利用している7名のうち、清武弘嗣選手、山口蛍選手、柿谷曜一朗選手、香川真司選手の4名は、セレッ

ソ大阪に現在所属している、または、所属経験のある選手達です。「セレ女」(セレッソ大阪に所属する若手選手の女性ファン)や「フォル男」(ディエゴ・フォルラン選手の男性ファン)などの新たなファンを獲得し、クラブ経営の巧みさが注目を集めるセレッソ大阪は、きめ細かいファン対応でも知られ、Twitter の利用についても、選手自身の好みに加えて、クラブの方針や文化が影響しているとも考えられます。

■ブログで最も多く記事を書いたのは川島永嗣選手

一方、ブログを利用しているのは 9 名(2014年6月4日調査時点)であり、累計で最も多く記事を書いたのは、川島永嗣選手でした。整った文体や写真からは、日本代表チームの守護神が、日常生活においても隙のない完璧主義者であることがうかがわれます。

読者数が最も多いのは長谷部誠選手です。2011 年 3 月に出版された著書『心を整える。』が、スポーツ選手初のミリオンセラーとなるなど、多才な長谷部選手のブログの読者には、ビジネスパーソンなど、サッカーファン以外の読者も多いようです。

【表 4:各選手のブログ利用状況】

(調査時期:2014 年 6 月 4 日)

順位	選手名	URL	登録年月	記事数	読者数
1	川島永嗣	http://ameblo.jp/eiji-kawashima/	2007年4月	903	17,098
2	清武弘嗣	http://blog.lirionet.jp/kiyo/	2010年11月	306	(不明)
3	岡崎慎司	http://ameblo.jp/okazaki-shinji/	2011年2月	295	6,276
4	長谷部誠	http://ameblo.jp/makoto-hasebe17	2011年7月	275	30,944
5	吉田麻也	http://ameblo.jp/mayayoshida/	2012年6月	155	24,225
6	長友佑都	http://ameblo.jp/guapoblog/theme-10019835468.html	2010年3月	127	11,718
7	柿谷曜一朗	http://ameblo.jp/yoichiro-kakitani/	2013年11月	50	(不明)
8	山口蛍	http://blog.lirionet.jp/hotaru6/	2013年5月	24	(不明)
9	遠藤保仁	http://ameblo.jp/y7-yatto/	2014年1月	17	3,635

■ソーシャルメディアを利用して、あなたも応援メッセージを送りましょう！

サッカーW 杯日本代表選手においてもソーシャルメディアの利用は一般的なものとなりつつあります。海外のクラブでプレーする選手にとっては、日本で応援しているファンと自身を結びつけるものとして、また、セレッソ大阪をはじめとする国内のクラブでプレーする選手にとっては、ファンとのつながりをより密接にするものとして、ソーシャルメディアを活用した新たなコミュニケーションが広がりつつあります。

日本から遥か遠いブラジルの地で戦いに臨む日本代表選手たちに、あなたも応援メッセージを送ってみてはいかがでしょうか。

■ソーシャルメディア分析ツール「クチコミ@係長」(<http://www.hottolink.co.jp/kakaricho>)

「クチコミ@係長」シリーズは、導入社数累計 700 社を超えるお客様にご利用いただいているソーシャルメディアの分析 ASP ツールです。



Twitter・ブログ・掲示板などソーシャルメディアに日々投稿される膨大な口コミ情報、総数約 360 億件 (※2013 年 8 月 13 日現在)を、リアルタイムに収集・分析することが可能です。

ソーシャルメディアと、テレビやネットニュースの露出数との相関をみられるクロスメディア分析機能も搭載しています。また、「クチコミ@係長」の国内最大規模のソーシャルメディア・データベースや感情/属性分析エンジンは API 方式で提供しています。

(<http://www.hottolink.co.jp/api>)

■株式会社ホットリンクコンサルティングについて (<http://www.hottolink.co.jp/consulting>)

ホットリンクコンサルティングは、企業のマーケティング戦略立案・実現を目的としたビッグデータ活用を、独自の視点で推進・強化・支援いたします。

企業にとって最適なデータ活用を実現するため、ソーシャル・ビッグデータをはじめとしたシングルソースのデータ分析から多様なデータを組み合わせたアドバンスアナリティクスの適用、そして予兆発見や需要予測への応用まで、ビジネス、アナリティクス、テクノロジーを融合させたコンサルティングを提供しています。

■株式会社ホットリンクについて (<http://www.hottolink.co.jp/>)

ホットリンクは、ソーシャル・ビッグデータを分析・加工し、ビジネスへの有効活用を支援するクラウドプラットフォームベンダーです。大量のソーシャル・ビッグデータをリアルタイムに検索・分析が可能な「クチコミ@係長」、及び風評をモニタリングする「e-mining」を、現在まで累計 1600 社以上に提供してまいりました。また同様に、ソーシャル・ビッグデータおよび、感情/属性分析エンジンを、API を通じてサードパーティ向けに提供しています。また、2013 年 6 月より金融分野では、日本企業初の Bloomberg 利用者向け金融ビッグデータ分析ツールを提供しています。



■この件に関するお問い合わせ先

株式会社ホットリンク 広報・IR 室

東京都千代田区四番町6番東急番町ビル TEL:03-5745-3903 Email: pr_request@ml.hottolink.com